

4段階評定 4:期待以上 3:ほぼ期待どおり 2:やや期待を下回る 1:改善を要する

項目	評価指標及び具体的目標	方策・手立て	自己評価		結果の考察・分析及び改善策等
			評価	総合評価	
I 町民総ぐるみによる教育の推進	1 学校や家庭、地域等が一体となって取り組む教育を推進する。 ・参観日出席率80%以上 ・地域の物的、人的教育資源の有効活用(各学年:年5回以上) ・家読(うちどく)の奨励 ・保護者との協働による生活リズムの推進(「みそ汁+1」「スイッチオフ」「ファミリー運動」作戦)	町人材(財)バンクを活用し、特色ある教育活動を推進する。 保護者と連携し、家庭読書習慣や家庭生活習慣の形成に向けた働きかけを継続する。	3		○参観日の出席率(4月:87% 7月:86% 9月:84% 11月:96% 12月:80% 1月:71% 平均84%) ○町教委作成の「教育資源の人材バンク」を活用した体験学習の実施を継続中 ○家庭読書充実への働きかけ(教職員による評価:肯定的回答82%→72%) *4段階評定 4[5%→22%] 3[77%→50%] ○生活リズム3大作戦を5月・9月・1月に実施(5月 みそ汁+1作戦:49% スイッチオフ作戦:33%) (9月 みそ汁+1作戦:43% スイッチオフ作戦:33%) ●みそ汁+1作戦は目標が50%であと少し。一方スイッチオフ作戦は目標80%にほど遠い結果であった。就寝時刻の遅さによる保健室来室児童への指導が課題である。
	2 家庭や地域の教育力の向上に努める。 ・学級懇談会の充実(年6回) ・家庭・地域との連携による登校指導(PTA登校指導:年3回) ・家庭教育学級の活性化	学級懇談会の内容を工夫したり、家庭・地域との連携による活動と呼び掛けたりするなど、積極的な情報発信に努める。	3	3	○学級懇談会の出席率(4月:61% 7月:50% 9月:48% 12月:42% 1月:36% 平均47%) ○2月に学級懇談会とPTA総会を実施 ●保護者の願いや要望を考慮した懇談会の話題の設定や子育てに係る情報提供、アンケート、教育講演会の実施など改善を図ることにより、懇談会出席率の向上を図る必要がある。 ○PTAによる登校指導を6月・9月・1月に実施 ○家庭教育学級は計画的に実施
	3 開かれた学校づくりを推進する。 ・組織としての学校運営の活性化(各部実効策の活用と評価結果の反映:年2回) ・学校評価を生かした教育課程の改善(児童・保護者アンケートの実施と結果の反映:年2回) ・積極的な情報発信(学校だよりによる啓発:月1回) ・オープンスクールの実施	組織としての学校運営に努めるとともに、適切な評価結果を改善に生かす。	4	4	○組織的な分掌・学年運営に係る教師アンケート(教職員による評価:肯定的回答100%) ◎各部長や主任等を中心に、各部や学年相互の円滑な連絡・調整が図られ、組織的な運営が推進されている。 ○教職員による評価(校務部ごとの評価)・児童及び保護者アンケート:7月・12月に実施 ○学校だよりを月1回発行 ●ホームページの定期的な更新に努める必要がある。 ○ふれあい参観日(オープンスクール)を11月に実施
II 生きる基盤を育む教育の推進	1 確かな学力を育む教育を推進する。				
	(1) 少人数指導や個別指導を充実する。 ・算数科における少人数指導、個別指導の推進	算数科における習熟度別少人数指導や個別指導の充実を図る。	3		○少人数指導推進教員を中心とした学級担任との習熟度別指導の実施 第5学年:週4時間×3学級 第6学年:週5時間×2学級 ◎一貫した方針に沿った1単位時間の授業展開や、児童一人一人の実態に応じた、きめ細かな指導と評価がなされている。
	(2) 望ましい学習習慣を身に付けさせる。【小中連携項目】 ・予鈴着席、チャイム黙想の徹底 ・話を聞く態度の育成(立腰指導の重視)	望ましい学習習慣の形成のため、町NF教育研究会と連携した取組を推進する。	3		○予鈴着席、チャイム黙想は、学習指導部からの働きかけにより、全校で実施継続中(実施率:ほぼ100%) ○話を聞く指導の徹底(教職員による評価:肯定的回答91%→95%) ○話を聞く態度の育成(児童の自己評価:肯定的回答91%→91%)
(3) 学力の向上を図る。 ・各学年における学力向上対策シートの作成と活用 ・「がってんタイム」の計画的な活用 ・家庭学習の充実を図る具体的指導 ・単元テスト、学習内容80%以上の定着 ・CRT検査の全国平均達成	1単位時間の授業を成立させるとともに、単元末の習熟の時間を充実させ、学習内容の定着を図る。	2	3	○学力調査の結果を生かした学力向上マネジメントサイクルシートを基にした各学年の学力向上対策の推進(学年用シートの作成)及び学年間での共通実践 ●学年主任会を学力向上対策の推進母体として、取組の充実を図る必要がある。 ○学力向上対策のための校内研修を8月に実施 ○「がってんタイム」の共通実践 月:漢字・計算 火・水:計算 木:読書 金:漢字(教職員による評価:肯定的回答86%→89%) ○家庭学習充実への指導徹底(教職員による評価:肯定的回答78%→78%) *4段階評定 4[9%→11%] 3[69%→67%] ○1単位時間の授業の成立と単元末の習熟の時間の充実 ○CRTを1月に実施(国語・算数) ○Web学習単元評価システムの実施状況(80%以上の活用)	
2 豊かな心を育む教育を推進する。					
(1) 基本的な生活習慣を定着させ、社会規範意識を高める。【小中連携項目】 ・気持ちよいあいさつと返事の定着 ・右一静歩徹底 ・朝の奉仕活動の推進 ・無言清掃、チャイム黙想の徹底	基本的な生活習慣の定着のため、町NF教育研究会と連携した取組を推進する。 教児同行「共汗・協働」により、時と場に応じた行動がとれる児童の育成に努める。		3	3	○あいさつ・返事の指導徹底(教職員による評価:肯定的回答92%→86%) ○あいさつの実施(児童の自己評価:肯定的回答91%→90%) (保護者による評価:肯定的回答73%→76%) *4段階評定 4[18%→26%] 3[55%→50%] ○あいさつ元気隊の編制と継続的な取組 ○右一静歩の指導徹底(教職員による評価:肯定的回答75%→86%) *4段階評定 4[17%→10%] 3[58%→76%] ○右一静歩模範隊の編制と継続的な取組 ○奉仕活動実施率(7月 5年:60% 6年:70%)(12月 5年:ほぼ100% 6年:80%) ○青少年赤十字への加盟 ○JRC委員会の発足とボランティア活動への全校的な取組 ○無言清掃の指導徹底(教職員による評価:肯定的回答92%→86%) ○無言清掃(児童の自己評価:肯定的回答88%→89%) ○チャイム黙想の徹底(教職員による評価:肯定的回答100%) ◎縦割清掃で上級生によるリーダーシップが見られるようになった。

	(2)	生徒指導の充実を図る。 ・アンケート(月1回)、教育相談の実施 ・えがお推進委員会の充実と不登校児童0の実現(学校いじめ防止対策の完全実施)	児童の実態を適切に把握し、きめ細かな指導に心掛ける。 いじめ・不登校対策の充実に向け、町や関係機関と連携した取組を推進する。	3		○月1回のアンケートと教育相談を連動させて実施(実施率:100%) ○早期対応、職員会・えがお推進委員会での報告及び共通理解 ○えがお推進委員会の実施(月1回) (不登校児童0名に向けた働きかけを組織的に継続中)
	(3)	道徳教育、人権教育、ボランティア活動の推進を図る。 ・参観日の道徳授業の公開(年1回以上) ・人権教育研修の充実(年3回)	人権教育担当や道徳教育推進教師を中心に、豊かな心を育む研修を充実させる。	4		○道徳授業の公開(12月の参観日に全校一斉に実施) ○人権教育研修会を8月・12月・1月に実施 ◎ワークショップ型研修及び授業実践報告を基にした協議により、内容が充実した。
	3	健やかな体を育む教育を推進する。				
	(1)	体力の向上を図る。【小中連携項目】 ・体力向上プランに基づく個や集団に応じた体力づくり ・体力向上週間 「サーキット・遊び、持久走、なわとび運動」の実施(学期1回) ・外遊びの奨励、運動の日常化	体育科の授業を重視するとともに、体力向上週間における取組を充実させる。 外遊びの奨励や体力テストの結果を生かした取組を通して、体力向上への意識付けを図る。	3		○教科体育指導の充実(教職員による評価:肯定的回答95%→95%) ○体力向上週間における活動の充実(全校一斉に計画的に実践中) ○運動に親しむ機会と場の設定(教職員による評価:肯定的回答87%→95%) *4段階評定 4[9%→24%] 3[78%→71%]
	(2)	食に関する指導を推進する。 ・「早寝、早起き、朝ご飯」の実践 ・給食指導、「弁当の日」等の取組の推進(年3回)	学校保健委員会と連携した指導を推進する。 年3回の弁当の日の実施に合わせ、事前指導を充実させる。	3	3	○「早寝、早起き、朝ご飯」の実践(保護者による評価:肯定的回答85%→85%) *4段階評定 4[30%→30%] 3[55%→30%] ○食に関する指導の充実(教職員による評価:肯定的回答95%→100%) 弁当の日:第1学期[遠足・社会見学] 第2学期[ふれあい参観日(おにぎり+1)] 第3学期[お別れ遠足] ◎コース別の取組により実施率が向上している。
	(3)	保健・安全教育を推進する。 ・性に関する教育(年3回) ・エチケットデーの計画的な実施 ・薬物乱用防止教室の実施(年1回) ・う歯の治療率向上(目標60%)	年間指導計画に沿って、性教育や薬物乱用防止教室を実施したり、日常的な保健指導に努めたりする。	3		○性教育は年間指導計画に沿って計画的に実施 第1学期[6月] 第2学期[11月] 第3学期[2月] ○エチケットデーは第2学期から毎週木曜日に実施 [ハンカチ・ちり紙・つめ・うがい・手洗いの調査及び指導] ○薬物乱用防止教室は第5・6学年を対象に11月に実施 ◎講師を招聘し、学校保健委員会に位置付けた取組を進めている。 ○う歯の治療に係る保護者への情報発信と勧告(2月現在での治療率:55%) ●目標の60%まであと少し。
	4	特別支援教育の充実を図る。				
	(1)	・通常学級との交流や特別支援学校との居住地校交流の推進 ・特別支援教育研修の充実(年3回) ・ことばの教室の充実(川南町地区・都農町地区)	児童一人一人の教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばすための取組を推進する。	4	4	○交流学习の計画的実施 県立延岡しるやま支援学校との居住地校交流(12月・2月) 県立児湯るびなす支援学校との定期的な交流学习の実施 ○特別支援教育研修の計画的実施(講師招聘によるものも含む) ○ことばの教室は他校の教師とも連携し、言語の障がい種に応じた指導の在り方について助言をもらいながら実施中
III の自 立 進 了 社 会 人 、 職 業 人 を 育 む 教 育	1	ふるさと川南に学び、誇りや愛着を生む教育を推進する。 ・ふるさと学習の実施(秋季大運動会での川小音頭) ・町歌斉唱(儀式的行事等)	学校行事(入学式・卒業式・運動会等)で町歌を斉唱する。 運動会において、全校児童で川小音頭に取り組み、郷土愛を育む。	4		○講師を招聘しての段階的な川小音頭伝達講習を経て、体育実技研修会での全職員による習得 ◎運動会における全校踊りへの位置付け及び地域人材の活用がなされた。 ○川南町歌斉唱(3番まで)の行事への位置付け 秋季大運動会、入学式、卒業式で斉唱
	2	キャリア教育の推進を図る。 ・キャリア教育に係る諸活動の実践と年間指導計画の見直し(全学年での体験学習の実施) ・幼保小連携と小中連携の推進、就学前の幼児理解と関係機関との連携・充実	キャリア教育年間指導計画に沿って、授業を実践する。 体験的な学習と各教科・道徳・特別活動等との関連を図り、基礎的・汎用的能力の育成に努める。	4	4	○キャリア教育年間指導計画に沿った授業の実施及びキャリア教育研修会(夏季休業中)における教師の資質向上 ○関係機関と連携し、就学前の幼児の実態を段階的に把握(小学校生活へのスムーズな移行に資する) ○唐瀬原中学校・国光原中学校との交流の推進(生徒会による学校説明、部活動体験等)
IV 整 魅 備 力 、 あ る 充 実 の 教 育 を 支 え る 体 制 や 環 境 の	1	教職員の資質向上に努める。 ・授業研究を核とした校内外の研修、OJTの推進 ・学年部での授業の構築(1人1授業、相互参観授業の実施) ・服務規律の徹底(年3回以上のコンプライアンス研修)	研究授業や提案授業など授業力向上を図る研修を実施したり、校外研修への積極的な参加促進に努めたりする。 校内研修の充実を通して、教職員の資質及びコンプライアンス意識の向上を図る。	4	4	○第2学期より、計画に沿って学年部での1人1研究授業や提案授業を実施し、授業力向上への取組を推進 ◎コンプライアンス研修を長期休業のみならず適宜実施し、服務規律遵守意識の更なる高揚を図った。(コンプライアンスチェックシートの活用)
	2	学校における安全、安心の確保に努める。 ・全学年での交通安全指導の実施(1学期) ・避難訓練の実施(年5回:学校行事3回) ・安全点検の実施(毎月)	安全点検や学校行事(交通安全指導・避難訓練等)の計画的な実施により、日々の防災意識と危機管理能力の向上を図る。	4		○日常的な安全指導の実施に係る教師アンケート(肯定的回答100%) ○計画的な避難訓練の実施に係る教師アンケート(肯定的回答96%→100%)